

暮らし

明和町は、「ともに支えあう福祉と健康のまちづくり」を目指しています。そのために、これからの少子高齢化社会を、町民一人ひとりが健康で生きがいを持って暮らすことができ、身近な地域で共に支え合い、助け合える、きめ細やかな福祉政策を進めています。

福祉健康

健康ひろば
定期的に血圧測定、尿検査、体脂肪測定等を実施し、保健師による健康相談を行っている。



明和町保健福祉センター

施設内には「地域包括支援センター」や「障がい者生活支援センター」を設置し、町の総合的な保健福祉施策を推進している。町民の保健福祉の推進や高齢者の介護予防、障がい者の相談支援を推進する拠点であり、定期的に幼児の健診や育児相談等も実施している。



明和町社会福祉協議会

様々な地域福祉活動や在宅福祉サービスの実施、ボランティアの養成や支援を行っている。地域福祉を推進していく民間組織で、明和町の福祉を支える重要な柱のひとつ。



教育子育て

町の未来を支え、発展させる原動力となるのは、そこに暮らす人々の力です。そして、その人を育み、成長させるのは「学び」に他なりません。明和町では、その「学び」を大切にし、快適な「学びの場」を提供したいと考えています。

生活習慣や社会性の学習はもちろん、地域とのふれあいや英語教育など多文化とのふれあいの場を大切にし、更なる教育・保育内容の充実を図っていきます。

「みょうじょうこども園」を開園しました。義務教育においては、確かな学力の定着・向上を目指した学力検査の活用や、「教育力向上プロジェクト」による、教職員の指導力向上を図り、教育を行う側と受ける側、双方の能力向上を目指し、総合的な教育力の充実に目指していきます。



小学校児童らの体験学習

地元を流れる祓川の調査の体験学習を通じて、子どもたちに自然環境に関心をもってもらい、祓川の美化につながる活動を行う。稲作体験学習等も実施。



みょうじょうこども園

平成27年4月1日より幼保連携型認定こども園として開園。認定こども園は教育と保育を一体的に行う機能を有し、教育機会の拡大や待機児童の解消に取り組んでいる。



総合体育館

各スポーツ用のアリーナ、柔剣道場、トレーニング室を完備。他にも総合グラウンド(野球や陸上競技など)、テニスコート(全天候型砂入り人工芝：ナイター可能)、担い手センター(体育館)等の町有施設がある。